



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL <https://www.nippon-gear.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）寺田 治夫

問合せ先責任者 （役職名）取締役管理部長 （氏名）林 秀樹 TEL 03-6363-3170

半期報告書提出予定日 2026年11月12日 配当支払開始予定日 2026年12月4日

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期中間期	4,451	5.7	1,266	59.9	1,302	59.4	888	60.0
2026年3月期中間期	4,212	△0.7	791	△11.1	817	△11.1	555	△11.2

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	62.38	—
2026年3月期中間期	39.00	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期中間期	18,048	15,583	86.3	1,094.60
2026年3月期	17,201	14,481	84.2	1,017.15

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 15,583百万円 2026年3月期 14,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2027年3月期	—	5.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	10,000	1.2	2,500	1.7	2,560	2.1	1,760	0.5	123.62

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2027年3月期中間期	14,280,000株	2026年3月期	14,280,000株
2027年3月期中間期	43,177株	2026年3月期	43,077株
2027年3月期中間期	14,236,873株	2026年3月期中間期	14,237,136株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善や個人消費の持ち直しなどにより景気は緩やかな回復傾向が継続した一方で、イラン情勢の悪化によって原油価格が大幅に上昇したことを反映し、資源価格の高騰や物価高に加え円安の影響などにより物価上昇が進展しました。また、イスラエルを巡る緊張や地政学的リスク、中国経済の停滞、長期化するロシア・ウクライナ紛争等に加え、米国による関税措置の見直しにより、世界経済の先行きに不確実性がさらに高まる状況となり、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

当中間会計期間の受注高は、72億64百万円（前年同期比20.5%増）、売上高は、44億51百万円（前年同期比5.7%増）、受注残高は、85億16百万円（前事業年度末比49.3%増）となりました。

損益面につきましては、売上原価が21億41百万円（前年同期比4.8%減）、販売費及び一般管理費は10億43百万円（前年同期比10.8%減）となりました。これは主に、前期において前払年金費用に係る数理計算上の差異43百万円（不利差異）を、当期につきましては31百万円（有利差異）をそれぞれ第1四半期で一括計上したことにより合計75百万円減少したことによるものであります。これにより、営業利益は12億66百万円（前年同期比59.9%増）、経常利益は13億2百万円（前年同期比59.4%増）、中間純利益は8億88百万円（前年同期比60.0%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

①歯車及び歯車装置事業

a. バルブ・アクチュエータ

受注高は原子力発電所、石油・ガス向けが増加したことにより、前年同期比40.1%増加いたしました。売上高は火力発電所、原子力発電所向けが増加したことにより、前年同期比14.1%増加いたしました。

b. ジャッキ

受注高は鉄鋼、半導体・液晶向けが増加したことにより、前年同期比33.0%増加いたしました。売上高は上下水道向け、産業機械用が減少したことにより、前年同期比7.6%減少いたしました。

c. その他増減速機

受注高は上下水道向け、産業機械用が減少したことにより、前年同期比9.1%減少いたしました。売上高は石油・ガス向け、産業機械用が増加したことにより、前年同期比5.5%増加いたしました。

d. 歯車

受注高は火力発電所向け、産業機械用が増加したことにより、前年同期比18.3%増加いたしました。売上高は火力発電所向け、産業機械用が増加したことにより、前年同期比9.5%増加いたしました。

②工事業

受注高は原子力発電所、上下水道向けが減少したことにより、前年同期比7.4%減少いたしました。売上高は原子力発電所、化学向けが減少したことにより、前年同期比4.7%減少いたしました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ3億81百万円増加し123億72百万円となりました。これは主に売上債権等が14億58百万円減少いたしましたが、現金及び預金が15億92百万円、棚卸資産が2億51百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ4億66百万円増加し56億76百万円となりました。これは主に有形固定資産が23百万円減少いたしましたが、投資有価証券が4億40百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ3億73百万円減少し16億42百万円となりました。これは主に仕入債務が43百万円、未払法人税等が86百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ1億18百万円増加し8億22百万円となりました。

純資産は前事業年度末に比べ11億2百万円増加し155億83百万円となりました。これは主に利益剰余金が8億2百万円、その他有価証券評価差額金が2億99百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ15億92百万円増加し77億18百万円(前事業年度末比26.0%増)となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、17億91百万円(前年同期比64.0%増)となりました。これは主に税引前中間純利益13億18百万円、減価償却費1億23百万円、売上債権の減少15億67百万円の収入に対し、棚卸資産の増加2億51百万円、仕入債務の減少40百万円、法人税等の支払額5億12百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、94百万円(前年同期比71.8%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出84百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、1億3百万円(前年同期比37.2%増)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出18百万円、配当金の支払額84百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期(累計)の業績予想を上回っておりますが、現時点では売上予想・費用発生予想が困難なことから利益を合理的に算定できないため、通期の業績予想は変更しておりません。今後、利益予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,125,746	7,718,212
受取手形、売掛金及び契約資産	2,455,437	1,393,288
電子記録債権	1,377,952	981,843
商品及び製品	199,750	238,542
仕掛品	313,273	393,794
原材料及び貯蔵品	1,420,441	1,552,349
その他	98,349	94,279
流動資産合計	11,990,951	12,372,309
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	1,153,368	1,130,183
有形固定資産合計	2,166,659	2,143,474
無形固定資産	137,296	142,335
投資その他の資産		
投資有価証券	1,478,687	1,919,662
前払年金費用	1,047,061	1,093,686
長期預金	300,000	300,000
その他	84,159	81,010
貸倒引当金	△3,687	△3,612
投資その他の資産合計	2,906,220	3,390,746
固定資産合計	5,210,176	5,676,557
資産合計	17,201,128	18,048,867
負債の部		
流動負債		
買掛金	276,556	298,488
電子記録債務	164,019	98,799
1年内返済予定の長期借入金	37,620	37,620
未払法人税等	543,281	457,255
賞与引当金	187,787	188,036
契約負債	11,582	48,864
圧縮未決算特別勘定	146,780	146,780
その他	648,958	367,026
流動負債合計	2,016,585	1,642,869
固定負債		
長期借入金	34,555	15,745
退職給付引当金	1,000	883
資産除去債務	167,596	167,692
その他	500,238	638,005
固定負債合計	703,389	822,326
負債合計	2,719,975	2,465,196

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	844,542	844,542
利益剰余金	11,472,338	12,275,056
自己株式	△16,001	△16,154
株主資本合計	13,689,678	14,492,244
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	791,474	1,091,426
評価・換算差額等合計	791,474	1,091,426
純資産合計	14,481,153	15,583,670
負債純資産合計	17,201,128	18,048,867

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	4,212,098	4,451,023
売上原価	2,250,229	2,141,188
売上総利益	1,961,868	2,309,834
販売費及び一般管理費	1,170,007	1,043,529
営業利益	791,860	1,266,304
営業外収益		
受取利息	3,642	12,027
受取配当金	19,770	21,173
出向者負担金	53	-
その他	2,438	4,305
営業外収益合計	25,904	37,506
営業外費用		
支払利息	302	368
支払手数料	150	150
為替差損	-	380
その他	12	149
営業外費用合計	464	1,048
経常利益	817,300	1,302,763
特別利益		
固定資産売却益	-	2,499
投資有価証券売却益	-	13,405
特別利益合計	-	15,904
税引前中間純利益	817,300	1,318,668
法人税等	262,052	430,528
中間純利益	555,248	888,139

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	817,300	1,318,668
減価償却費	107,476	123,577
受取利息及び受取配当金	△23,413	△33,201
支払利息	302	368
為替差損益(△は益)	1	5
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△13,405
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△2,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,863	248
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△100	△116
前払年金費用の増減額(△は増加)	28,759	△46,625
売上債権の増減額(△は増加)	755,787	1,567,320
契約資産の増減額(△は増加)	△93,616	△109,062
棚卸資産の増減額(△は増加)	△74,404	△251,220
仕入債務の増減額(△は減少)	△137,120	△40,298
契約負債の増減額(△は減少)	11,200	37,281
未払又は未収消費税等の増減額	△13,688	△74,119
その他	36,945	△205,713
小計	1,426,294	2,271,208
利息及び配当金の受取額	23,413	33,201
利息の支払額	△181	△362
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△357,504	△512,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092,021	1,791,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△329,796	△84,569
有形固定資産の売却による収入	-	2,500
無形固定資産の取得による支出	△3,215	△23,852
投資有価証券の取得による支出	△3,221	△3,255
投資有価証券の売却による収入	-	13,405
敷金及び保証金の差入による支出	△723	△77
その他	324	882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△336,632	△94,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△18,810	△18,810
自己株式の取得による支出	△68	△152
配当金の支払額	△56,881	△84,989
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,760	△103,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	679,626	1,592,465
現金及び現金同等物の期首残高	4,496,297	6,125,746
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,175,924	7,718,212

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	3,185,645	638,498	3,824,144
一定の期間にわたり移転される財	—	387,953	387,953
顧客との契約から生じる収益	3,185,645	1,026,452	4,212,098
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,185,645	1,026,452	4,212,098
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,185,645	1,026,452	4,212,098
セグメント利益	492,663	299,196	791,860

(注) セグメント利益の合計は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自2026年4月1日 至2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	3,472,634	549,575	4,022,209
一定の期間にわたり移転される財	—	428,814	428,814
顧客との契約から生じる収益	3,472,634	978,389	4,451,023
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,472,634	978,389	4,451,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,472,634	978,389	4,451,023
セグメント利益	1,000,925	265,378	1,266,304

(注) セグメント利益の合計は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。